

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的
 ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
 ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
 ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
 ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
 ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

■2面 ニュース/国会スポット
 ■3面 読者/まんが/乱楽
 ■4・5面 第69回国連女性の地位委員会(CSW69) ジェンダー平等と平和/女性働く/ホット
 ■6面 食事情/子育て/時事
 ■7面 新婦人のページ/主張/母の歴史



鳥取・境港市 足立美枝子(79)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

高校授業料「無償化」の陰で 公立が壊されている

大阪に見る危機の実態



満開の桜のもとで高校生活をスタート(本文とは関係ありません)

高校授業料の「無償化」を盛り込んだ2025年度政府予算が成立しました。高校授業料の無償化は、長年、多くの高校生や保護者たちが「お金の心配なく学びたい」とねばり強く

声を上げ、運動し続けてきた成果です。しかし、本当の「無償化」はもたらされるのか…。維新府政のもと先行して私立無償化が進められている大阪取材しました。

3党合意の中身は

自民・公明・日本維新の会の3党合意を受け、「高校授業料無償化の拡充」が決まりました。今年4月から高等学校就学支援金の所得制限を撤廃し、年間1万8000円を支給、2026年度から私立高校の支援金の上限を45万7000円に引き上げる方針です。

定員割れで廃校に

この間、大阪では維新府政のもとで、定員割れを理由に公立高校が次々と廃校にされてきました。2025年4月現在、21校の廃校が決定され、さらに検討対象は増えています。この流れのおお



府高教委委員長 志摩毅さん

「大阪では、『15の春は泣かせない』と、募集定員が進学予定者を上回るように調整しているの

「大阪では、『15の春は泣かせない』と、募集定員が進学予定者を上回るように調整しているの

「それらの学校では突然1クラス募集を増やされて、その翌年定員割れして決める教育委員会の責任です。阪南市や柏原市など大阪の南部の地域では唯一の府立高校がなくなるケースもあり、高校の空白地帯が生まれてきています。交通費や通学時間の負担が増し、教育の機会

私学も苦境に

「無償化」の流れの中で、私学の現場も大きく揺れています。「教育の無償化には賛成です。ただ、大阪の私学の無償化は年間授業料が63万円を超える学校側が負担する仕組みです。大阪では、私立学校への助成金が大きく削られたうえ、パーヘッド方式、つまり「生徒1人あたりいくら」という仕組みに変えられ、生徒を確保できなければ経営が成り立たない」と志摩さん。授業料収入を増やすため定員を大きく超えて生徒を受け入れたり、コストカットのため正規教員を減らす学校が出ています。

危険な万博は中止を!



13日開幕の大阪・関西万博の会場で6日、着火すれば爆発の危険がある濃度のメタンガスが検知され、消防隊が出動する事態に。10日、大阪で「万博は中止を」「危険な万博に子どもたちを行かせないで」と緊急の抗議スタンディングに100人が参加。新婦人は全国各地から、子どもたちの安全確保最優先のため「遠足や学校行事、修学旅行先の見直し」を求め、教育委員会に要請している。

5月10日号は休刊です

